

出国関連	
パスポート	<p>残存期間が入国時に<b>6ヶ月以上+滞在日数以上</b>あるかを確認してください。            ※紛失に備えてコピーと写真2枚を別に保管してください。</p>
航空券	<p><b>必ず往復チケット</b>もしくは、<b>第3国に出国するチケット</b>を購入して下さい。            ※紛失に備えてコピーを別に保管して下さい。</p>
海外旅行保険	<p>万が一に備え、補償内容が充実したものに加入下さい。</p> <p>クレジットカード付帯の海外保険では補償が不十分ですので、新に加入されることをお勧めします。            PCやスマホからも海外旅行保険にご加入いただけます。(エースやAIUなど)</p>
ビザ	<p>日本国籍および韓国籍の場合、30日以内の滞在はビザ不要です。            30日を越えて滞在する場合は、現地で延長手続きを行いません。            日本および韓国以外の国籍をお持ちの方は、事前にお問い合わせ下さい。</p>
証明写真	<p>5Cm×5Cm、白背景。各写真裏にローマ字で記名をお願い致します。</p> <p>枚数は留学期間により異なります。(現地で撮影も可能です。)</p> <p>1週間留学の生徒：3枚 (PROFILE/PROFILE/SSP)</p> <p>4週間留学の生徒：4枚 (PROFILE/PROFILE/ID/SSP)</p> <p>8週間留学の生徒：5枚 (PROFILE/PROFILE/ID/SSP/1<sup>st</sup>ビザ)</p> <p>12週間留学の生徒：7枚 (PROFILE/PROFILE/ID/SSP/1<sup>st</sup>ビザ/2<sup>nd</sup>ビザ/ARP)</p>
現金	<p>1.学校のオリエンテーション資料に記載の現地にてお支払い頂きます費用を必ずご確認頂き、現地で支払うのに十分なお金をご用意下さい。</p> <p>2.想定外の出費も考慮の上、現地でお支払い頂きます費用の他、ご自身で使われますお小遣いも十分にご用意下さい。</p> <p>※1ペソ=約2.3~3円 (2017年1月現在)</p> <p>レートは日本より現地の方が良いため、なるべく現地でご両替頂く事をお勧めいたします。</p> <p>(フィリピン入国時は「<b>10,000ペソ</b>」以上の持込ができませんので、ご注意ください)</p> <p>国際クレジット、または銀行キャッシュカードInternational用 (“Cirrus”、“Plus”マークが記載のもの) は現地でも使用可能です。</p> <p>大きなショッピングモール等ではカードもご利用頂けます。また、現金を持ち歩く必要がない、トラベルプリペイドカードが便利です。なお、トラベラーズチェックは主要銀行以外ほとんど利用できません。</p>
授業関連	

辞書	電子辞書（英和・和英・英英が入っていると便利です）
ノート・筆記具	現地でも購入可能ですが、予め日本で揃えて持って行く方が無難です。 入国カード記入の際に必要なボールペンは、機内持ち込み手荷物の中に携帯しておいて下さい。
<b>生活関連</b>	
衣類	長ズボン・半ズボン・長袖シャツ・半袖シャツ・薄手の上着等 ※ほぼ半袖で過ごせる気候ですが、ショッピングモールなど冷房の効いている場所に備え、長袖シャツや薄手の上着等、羽織るものが必要です。
下着・靴下	5～6着程度
医薬品	普段服用されている処方薬・風邪薬・下痢止め（整腸剤）・頭痛薬・かゆみ止め 絆創膏など救急薬品など
虫除け対策グッズ	フィリピンでは時期により、蚊を媒介して感染するデング熱が流行することがございます。虫除けスプレーや蚊取り機器をご用意頂くことをお勧めします。 なお、虫除けグッズはフィリピンの薬局やショッピングモールでも購入することが出来ます
	※デングウィルスを持っていない蚊に刺された場合は感染しないので、多くの場合は蚊に刺されても感染しません。予防さえしていれば、必要以上に怖がる必要はございません。
履物	スリッパ（室内用）・運動靴・サンダル（ビーチサンダル）など
洗面道具	歯ブラシ・歯磨き粉・石鹸・トイレットペーパー・シャンプー・リンス・バスタオル2枚程度、 <b>タオル5枚程度</b> ・ハンカチ5枚程度・化粧品（化粧品は現地でも購入可能ですが、肌が敏感な人は日本からの持参が無難です。タオルも現地でも購入可能ですが、フィリピン物価に比べて高く、品質もあまり良くないので、日本からのご用意をお願いします。）
傘	折りたたみ傘用意。雨季：6月～11月位は必需品です（現地にて購入可能）
携帯電話	現地で連絡が必要となった場合に心強いですので、できる限りお持ち下さい。 ※国際ローミングサービスが利用できるよう、予め携帯会社へ問い合わせ、ご準備下さい。
その他	<b>入学許可書（必ずプリントアウトしてお持ち下さい）</b> ・日焼け止め・帽子・サングラス・眼鏡（コンタクトレンズ）・カメラ・手帳・目覚まし時計・カミソリ・水着・生理用品・爪切り・ノートパソコン・ドライヤー・変圧器など ※電気製品は220Vのため、変圧器が必要な製品があります。詳しくはお持ちの端末をご確認下さい。コンセントの形状は日本と同じAタイプになります。
	生活必需品の殆どは現地でも入手可能です。荷物をできるだけ少なくして現地で調達することも可能ですが、現地到着時間や両替のタイミングによりすぐに購入できない場合がありますので、滞在初日から必要な物は日本からご準備下さい。また、学生寮にはトイレットペーパーの備えが無いため、各自でご購入頂く必要があります。
<b>荷物</b>	
重量規定	フィリピン航空【委託荷物(23キロ)×2 + 機内持ち込み手荷物(7キロ)】 ※航空会社により異なりますので、ご利用の航空会社の規定をご確認下さい。

委託荷物	<p>搭乗時に携帯しないで預ける荷物 数と大きさに制限はありませんが、重量超過の場合は超過料金の支払いが生じます。</p>
機内持込手荷物	<p>機内搭乗の際、機内へ携帯する荷物（貴重品やノートパソコン等の精密機器等）</p>

## 入国際の注意点

<p><b>入国について</b></p>
<p>入国審査の際は素直な対応を心掛けて下さい。ほとんどありませんが滞在予定日数を聞かれた場合、お手持ちの帰国便チケットの日数（ノービザで30日以上の日数の場合は30日以下の日数）でお答えする事をお勧めします。</p> <p>また、入国の目的を聞かれた時は、「Study（留学）」と答えると大学留学と勘違いされやすいため、「Travel(観光)」と言った方がより確実です。（大学への留学の場合、学生ビザが必要になります）</p> <p>観光ビザにSSP（Special Study Permit の略で、観光ビザで英語研修及び非学位課程 (Non-degree) に限定し、6ヶ月以内の期間に限り合法的に就学できる「特別就学許可書」の事）を取得し、ご留学頂きます。</p> <p>万が一問題が生じた際には、事前にお渡しした学校の入学許可書をプリントアウトしたものを提示下さい。</p>
<p><b>パスポート</b></p>
<p>パスポートは、日本政府が海外で身元を証明する国際身分証明書であり、出入国の際に必ず必要なものです。</p> <p>パスポートをお持ちでない方はご自身で申請していただく事になります。</p> <p>申請から受領までに、通常1週間程度（土・日・休日を除く）を要しますので余裕を持って申請して下さい。</p> <p>尚、パスポートの残存日数は、入国時より6ヶ月+滞在日数以上必要です。既にパスポートをお持ちの方は残存日数をご確認下さい。</p>
<p><b>ビザ</b></p>
<p>日本国籍（韓国国籍）の場合、入国審査を通過すれば30日の滞在許可がもらえます。</p> <p>また、学校にてビザの延長手続きを行ないますので、ビザを事前に準備する必要はありません。</p>
<p><b>フィリピン入国の必要条件</b></p>
<p>パスポート残存期間は入国時、<b>6ヶ月+滞在日数以上必要</b>です。<b>往復の航空券もしくは、第3国に出国する航空券が必要</b>です。15歳未満の単独入国は不可です。親子でもファミリーネーム（名字）の異なる場合は、親子関係が証明できる書類が必要です。</p> <p>親以外の保護者同伴の場合はWEGが必要です。体に刺青のある方、犯罪歴がある方は入国出来ません。</p>